



吉岡町 「まち自慢」 フォトコンテスト 受賞作品発表

「まち自慢（吉岡町の魅力再発見）」をテーマにフォトコンテストを開催し、14作品が寄せられました。厳正な審査により、受賞者が決定しました。ご応募ありがとうございました。また、平成30年度もフォトコンテストを開催します。詳しくは町ホームページをご覧ください。

▼問い合わせ先 総務政策課 政策室 ☎26・2241（直通）



《最優秀賞》

「大藪の春祭」 小林 修武

講評 伝統芸能の獅子舞を子どもたちが継承し、支えるふるさとの力強さを、躍動感をもって表現しており、町の郷土としての味も出ている素晴らしい作品。



《優秀賞》

「桜並木」 舟岡 久佳

講評 シンボルである風車と桜がマッチしており、そこから見える浅間山も相まって吉岡町を良く表現している。



「落葉に染まる」 高橋 和雄

講評 町のシンボルである風車と夕焼けが美しく表現されている作品。風車のプロペラに躍動感があるとさらに良い作品になったと思う。

《入賞作品》



「ざる観音」 南雲 光明



「一日の始まり」 瀬戸 一大



「風を感じて」 瀬谷 知紀



「春陽」 天田 和臣



「夜の緑地公園と赤城山」 櫻井 梓

審査委員会の総評

吉岡町が開催する2回目のフォトコンテストでしたが、応募総数14点と少ない中、郷土を愛するという意味を思い出させるような光景がいくつもあり、町の写真を撮りたくなるような作品が寄せられました。今後も、工夫を重ねることで、さらなるレベルアップとフォトコンテストが盛り上がっていくことを期待しています。



▲受賞者のみなさんと町長